

3. イタリアンライグラス



(写真: 品種が違くと耐倒伏性がこれだけ違う。)

特徴

代表的な冬作飼料作物で多収、高品質

近年耐倒伏性に優れた品種も育成されている

基本的には単年生(播種翌年の夏前まで利用)
だが、越夏性を持つ品種もある

【栽培カレンダー】

		9月	10月	11月 ～3月	4月	5月
冷涼地	早生	●	●			◆ ◆
	晩生	●	●			◆ ◆ ◆
中間地	早生		●		◆ ◆	
	晩生		●			◆ ◆ ◆

● 播種期 ◆ 収穫期

(早生は1～2番草まで、晩生は2～3番草まで利用。前番草刈取後1ヶ月後が刈取の目安(越夏性品種は梅雨明けまでに2～3回、9月以降2回程度利用する。))

【栽培ガイド】

1. ほ場準備

畑に苦土石灰200kg/10aと堆肥3～4t/10aを入れ、起土する。
播種前2週間を目安に。

元肥として化成肥料(N・P・K=6・6・6(kg/10a))を入れて整地する。

2. 播種

散播または密条播とする。ブロードキャスター利用の場合は肥料と種子を混合して散播する。

播種量は

- ・2倍体(極早生～中生品種)は
2～3kg/10a
- ・4倍体(晩生、越夏性品種)は
3～4kg/10a

覆土は2cm程度。

3. 管理

必要に応じて3月上旬頃に追肥(窒素として2~3kg/10a(NK化成))する。また再生草利用の場合には、刈取後追肥(上と同様)を行う。

越夏性品種の場合、秋の最終刈取後、追肥(窒素として3kg/10a程度(3要素))を行う。

4. 病虫害対策

害虫対策

ムギダニ発生が著しい場合は刈り払い、再生草を利用する。

病害対策

イタリアンライグラスの病害としては冠さび病が主であるが、発生は2番草以降であり、中生までの品種で問題になることはあまりない。また9月上旬以前に播種すると、いもち病により幼苗段階で枯死することがあるため、著しい早播きは避ける。

5. 収穫・調製

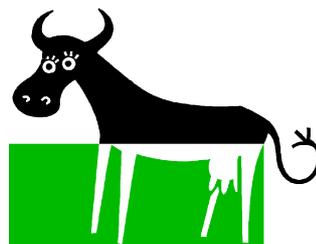
最適収穫時期は出穂期(全体の半数の茎から出穂した状態)。

サイレージ調製

イタリアンライグラスは水分含量が高いため、予乾が望ましい。調製時のポイントとしては水分が70%以下になるまで予乾後、サイレージ調製する。

6. 利用関連

イタリアンライグラスは硝酸態窒素が比較的蓄積しやすいので、肥料や堆厩肥の適切な施用に努めるとともに、必要に応じて飼料分析を行う。



イタリアンライグラス優良品種

耐倒伏性に優れ、多収な早生品種 「はたあおば」

1. 品種の特徴

ワセアオバの多収性とニオウダチの耐倒伏性を併せ持つ

2. 特性

はたあおばの乾物収量の対標比

	1番草	1,2番草合計
ニオウダチ比	128	115
ワセアオバ比	105	97
タワサ比	99	99

系適、茨城の3年間の試験の平均

はたあおば、その他品種の倒伏程度

	1番草	2番草
はたあおば	2.7	1.3
ニオウダチ	2.9	1.8
ワセアオバ	6.7	4.6
タワサ	5.3	2.9

1(無)~9(甚)、系適・全国の倒伏データの平均



3. 栽培適地

積雪の少ない地域(根雪期間40日以下)に適する。

4. 栽培のポイント

刈り遅れないよう、収穫適期(出穂期)に刈り取る

いもち病抵抗性は弱いので早播はさける

イタリアンライグラス優良品種

越夏性、耐病性に優れる 「アキアオバ3」

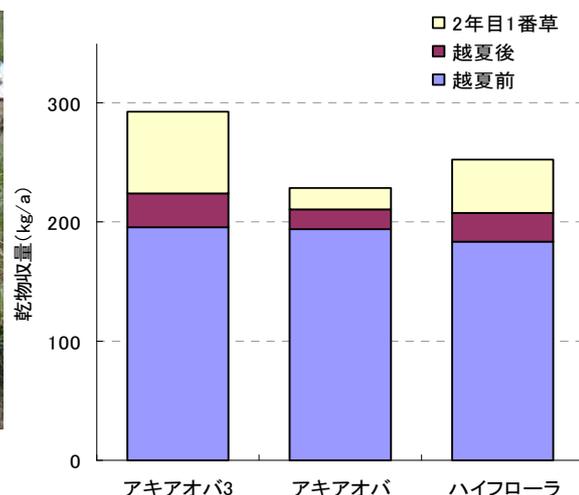
1. 品種の特徴

越夏後の再生力が優れる

2. 特性



左:アキアオバ3、右:アキアオバ
(2003年9月20日撮影)



アキアオバ3の乾物収量

3. 栽培適地

多雪地帯を除く高冷地に適する。

4. 栽培のポイント

越夏前の刈取は梅雨明けを目安とし、刈り遅れないようにする

過剰な施肥は越夏性を低下させるので避ける

その他

市販イタリアンライグラス品種の出穂日と早晩生

出穂日*	早晩性	主な品種	その他品種等
3/29	極早生		ハナミワセ
4/5		ウツキアオバ	
4/9	[早生の早]		あかつき (あけぼの) ワセフドウ
4/14	早生	優春	タチワセ いなすま タチマサリ
4/16		はたあおば ニオウダチ	ワセユタカ
4/19	[早生の晩]		ワセ王
4/21	中生		タチムシャ ドライアン エクセレント コモン (普通種) トレビアン
4/24		ナガハヒカリ	さつきばれ タチサカエ マックス
4/27	晩生	ヒタチヒカリ	ジャイアント
4/28			マンモスB
5/2			ムサシ
4/28	晩生 (極長期利用)	アキアオバ	エース
5/3	(越夏性)	アキアオバB	

*：出穂始日（茨城県畜産センターにおける2003年と2004年の品種比較試験の平均）。概ね極早生は出穂始日の約10日後、早生以降は約1週間後が刈取適期（出穂期）。出穂日は地域、年次により異なる。
斜字：他の試験結果等からの推定熟期

問い合わせ先（イタリアンライグラス関係）

名称 茨城県畜産センター・飼料研究室
農林水産省牧草育種指定試験地
住所 茨城県石岡市根小屋1234
電話 0299-43-3333
FAX 0299-43-6392